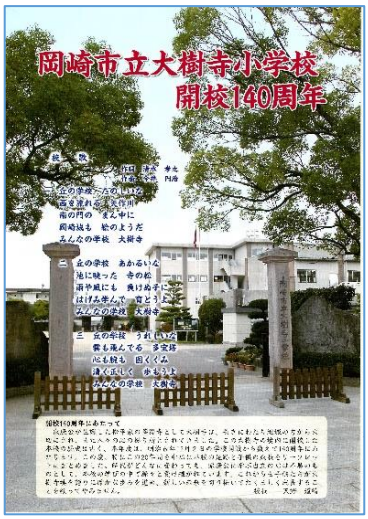
岡崎市立大樹寺小学校　校長室だより　令和４年７月１４日（木）　第１０号

大樹のこころ

１５０周年に向けて

令和５年１２月２日（土）に、大樹寺小学校は創立１５０周年を迎えます。本校では平成２５年に、１４０周年を記念して右のようなリーフレットを作成しました。８ページにわたる情報量の多い立派なリーフレットです。来年度迎えるのは「１５０周年」という大きな節目。１４０周年以上に充実したものにしなければいけません。また、１５０周年となると式典を行う必要も出てきます。どのような式典を行うのか、そして記念誌としてどのようなものを作成していくのかが大きな課題です。これらのことは学校単独で進めていくものではありません。地域との連携の中で考えていく必要があります。



そこで本日、１５０周年記念事業準備委員会を開催しました。参加メンバーは社教委員長、総代会長、PTA 会長、教頭先生、そして自分の５名です。本校の教職員の意見をまとめた案をたたき台にして、意見交換を行いました。この会において、１５０周年式典において大切にしたいこととして「子供が喜び、子供のためになる会にする」「華やかさを求めない」「今のデジタル時代に合ったものを考えたい」という３点が確認されました。

また NHK 大河ドラマ「どうする家康」が始まるということで、１５０周年と同様に大樹寺学区にも注目が集まります。歴史的な１５０年と大河ドラマの放映が同時期ということに、本校の「強運」を感じてしまいます。打ち合わせ会で、大河ドラマと１５０周年をタイアップできないかという意見も出ていますが、実現させるのはかなりハードルが高そうです。本通信をお読みの皆様も「式典の内容」「記念誌の中身」が気になるかと思いますが、今はまだシークレット。お楽しみは来年度にということで、ご理解ください。

もう一つ来年度は、本校に大きな出来事があります。それは校舎改築です。中校舎が全面改築となります。この工事は令和５年度・６年度と２年続くことになります。市の施設課からの説明によると「今後３５年先を見据えた最新鋭の校舎」になるとのこと。つまり「未来の学校」へと変身を遂げていきます。これまで私たちが生活してきた教室とは違った進化形になります。本当に楽しみです。

令和５年度は「１５０周年」「大河ドラマ」「校舎改築」と、大樹寺小が熱く燃える１年となりそうです。学校・家庭・地域が協力して盛り上げていきましょう。

全校一斉で、子供たちのタブレット端末に保存してある不要なデータを削除する「クリーンアップタイム」を実施しました。タブレットはあくまで学習に使用するもの。削除作業と合わせて情報モラルの学習も行いました。